

平成21年(2009年)3月期

決算発表



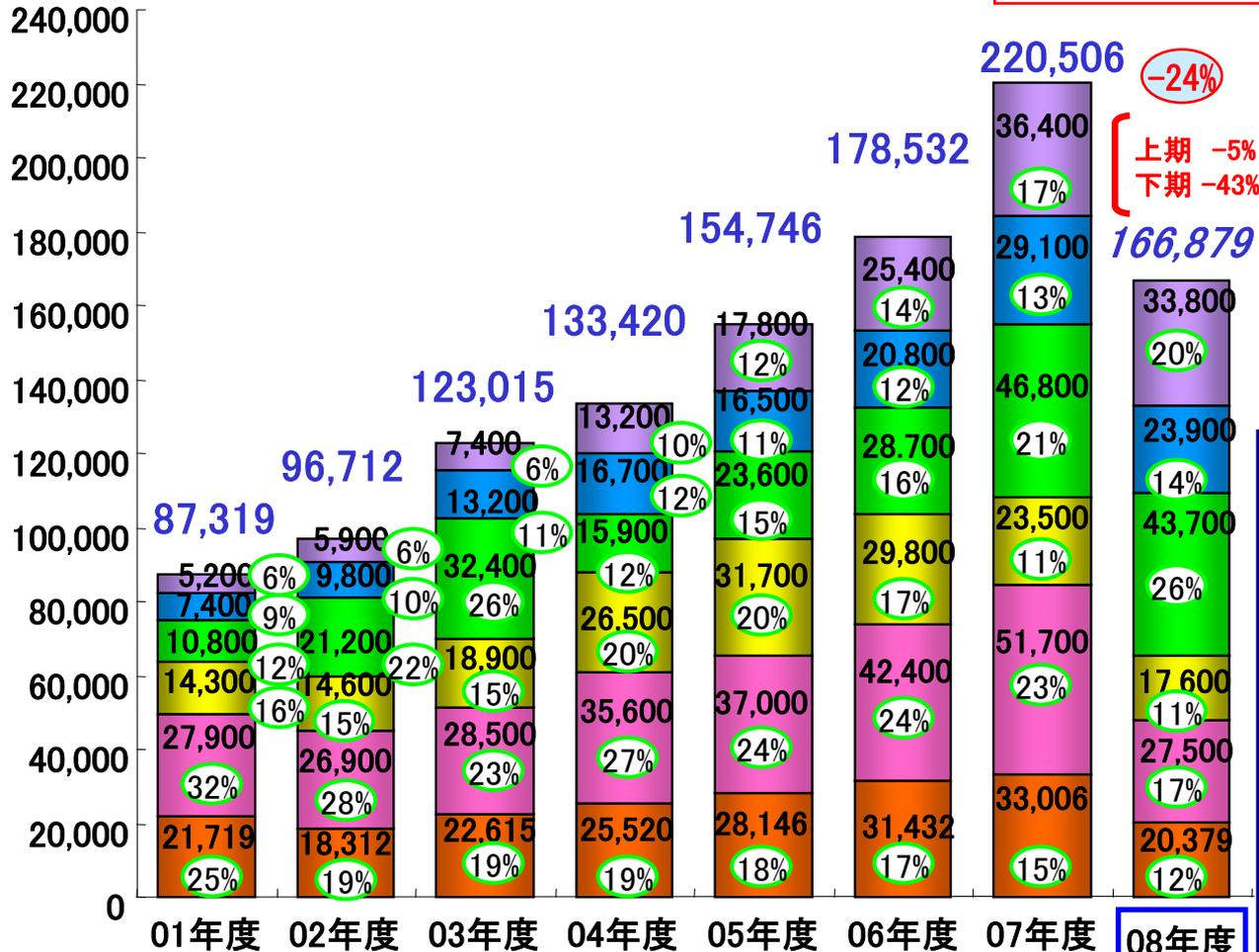
豊かな大地の活動。(地雷除去機で農道の整備)

油圧ショベル世界需要推移

3月締ベース

- 速報ベースで、08年度需要は対前年△24%
- 上期、日米欧のマイナス分を新興国でカバー
- 下期、日米欧の落ち込みに加え、中国を含む新興国でも急激に需要減少

(台/年)



○ 囲み数値は対07年度増減率

	上期	下期	通年 (%)
その他	34	-44	-7
アジア・大洋州	12	-43	-18
中国	16	-24	-7
北米	-29	-19	-25
西欧	-30	-64	-47
日本	-24	-53	-38

	上期	下期	通年 (%)
アジア・大洋州			
インド	10	-35	-15
インドネシア	55	-68	-13
その他			
ロシア・東欧・CIS	-8	-82	-50
アフリカ	44	-14	14
中近東	31	-39	-2
中南米	51	-25	11

08年度
今回

I. 連結決算の概要

(単位:億円)

•07年度、一部
15ヶ月決算実施

•09年1月時点の
対外公表との差
売上高で△368
億。利益には
△110億のイン
パクトを与える
→09年1月時点
から固定費を57
億円追加削減、
想定より円安に
推移したことも
あり、売上減の
利益に与える影
響を軽減できた

		08年度 決算	07年度 従来ベース	07年度 決算 (一部15ヶ月決算)	対前年 同期比 (従来ベース比)
売上高		(7,810) 7,442	9,036	9,405	82%
営業利益		(500) 488	1,052	1,085	46%
経常利益		(460) 478	976	1,006	49%
当期純利益		(200) 183	545	560	34%
為替	売上計上レート(円/ドル)	101.37	/	113.75	/
	予約反映後レート(円/ドル)	103.05		114.94	
	売上計上レート(円/ユーロ)	155.54		160.92	
	予約反映後レート(円/ユーロ)	159.41		160.58	
1株当たり配当金		44円	/	42円	/

注. ()内は09年1月対外発表値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•売上原価率は前年度に比べ、2.4%ポイント上昇

•販売費・管理費比率は、経費削減につとめたものの物量減により2.5%ポイント上昇

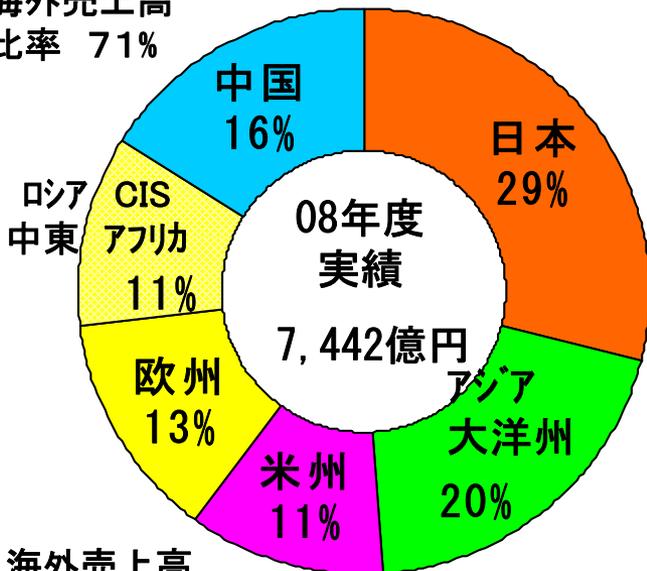
•営業外損益69億好転、営業利益と経常利益の差を10億に留めることができた。

•特別損益△37億は、主に3Qまでに織り込んだ投資有価証券評価損

	08年度		07年度		対前年同期比	
					金額	%
売上高	7,442		9,405		△1,963	79%
売上原価	(74.2%) 5,521		(71.8%) 6,752		△1,231	82%
販売費・管理費	(19.2%) 1,432		(16.7%) 1,569		△137	91%
営業利益	(6.6%) 488		(11.5%) 1,085		△597	45%
営業外損益	△10		△79		69	13%
経常利益	(6.4%) 478		(10.7%) 1,006		△528	48%
特別損益	△37		0		△37	-
法人税等	[42.4%] 203		[33.4%] 336		△133	60%
少数株主損益	△56		△110		54	51%
当期純利益	(2.5%) 183		(6.0%) 560		△377	33%

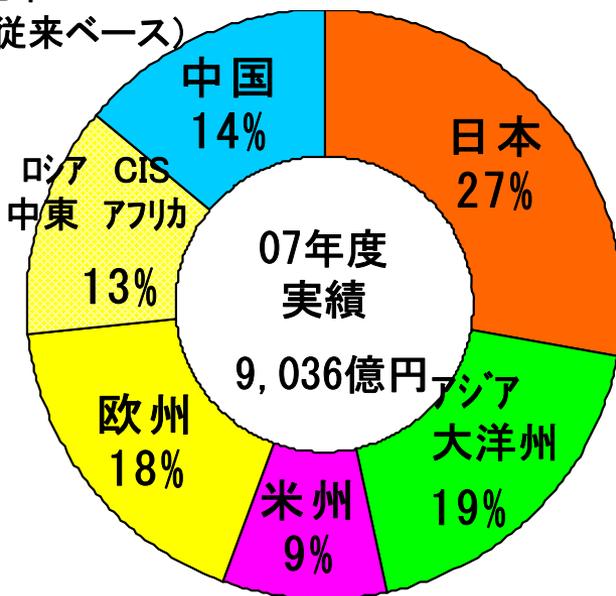
地域別売上比率・売上高(連結)

海外売上高
比率 71%



- 全地域において対前年度を下回る
- 海外売上高比率は71%に低下
- 特にロシアCIS、欧州が対前年度比で減少

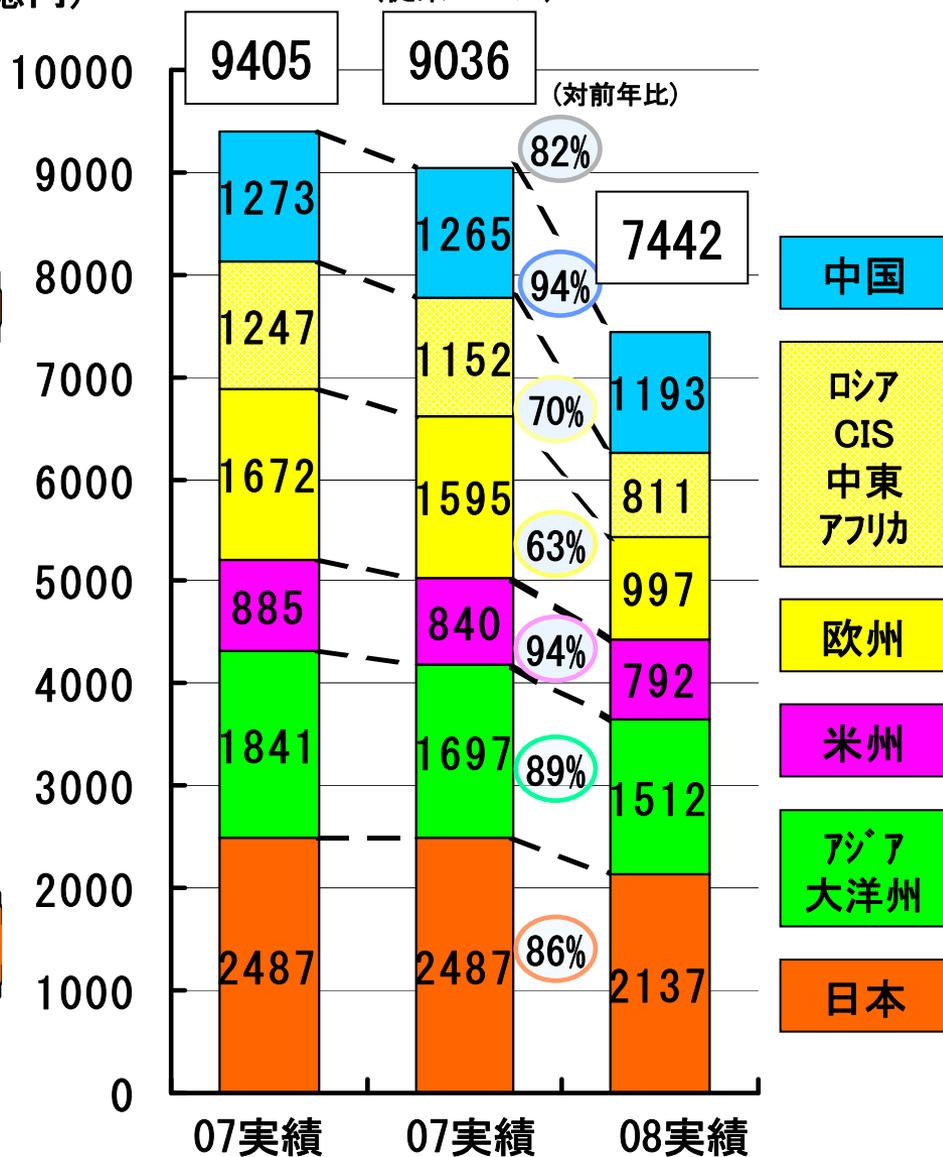
海外売上高
比率 73%
(従来ベース)



- 売上高比率もロシアCIS、欧州の比率がダウン
- 中国比率が2ポイントアップ

(億円)

(従来ベース)



(注1) % は対前年伸び率

所在地別 売上高・営業損益内訳(実績)

営業損益増減の
主な要因
(’07 vs ’08)

(単位:億円)

•日立建機△360億
操業度が急低下、
営業損益20億の
赤字

•海外製造△136億
従来好調だった
が、主に日立建
機ヨーロッパ△124億
により悪化

•海外・販売サービス
△81億
南ア、イギリス、中
国、オーストラリア、米
国とも各社黒字
をキープしたが、
前年度比でマイナス

•連結調整 93億
棚卸資産未実現
利益が07年度
△47億→08年度
64億で、111億の
増益効果

		売上高			営業損益		
		08年度 実績 (A)	07年度 実績 (B)	増減 (A-B)	08年度 実績 (C)	07年度 実績 (D)	増減 (C-D)
日立建機		3,982	4,799	△817	△20	340	△360
国内	製造	1,150	1,215	△65	49	68	△19
	レンタル	371	406	△35	2	5	△3
	ソフト事業他	1,157	1,132	25	11	48	△37
計		2,678	2,753	△75	62	121	△59
海外	製造	2,732	3,787	△1,055	164	300	△136
	販売・サービス	3,129	4,041	△912	281	362	△81
計		5,861	7,828	△1,967	445	662	△217
TCMグループ 注1		1,247	1,350	△103	△11	43	△54
合計		13,768	16,730	△2,962	476	1,166	△690
連結調整		△6,326	△7,325	999	12	△81	93
連結売上高・営業利益		7,442	9,405	△1,963	488	1,085	△597

注1) TCMグループ連結数値

連結営業外損益比較(実績)

営業外損益増減
の主な要因
(’07 vs ’08)

(単位:億円)

•金融収支 $\Delta 33$ 億
受取利息 $\Delta 17$ 億
支払利息 $\Delta 16$ 億

•たな卸資産処分
損・評価損
特に前年度は評
価損が大きかっ
たが、今年度は
営業外で処理し
た評価損なし

•持分法による投
資損益 $\Delta 32$ 億
ｲﾝﾄﾞ会社の持分
利益悪化 $\Delta 29$
億が主因

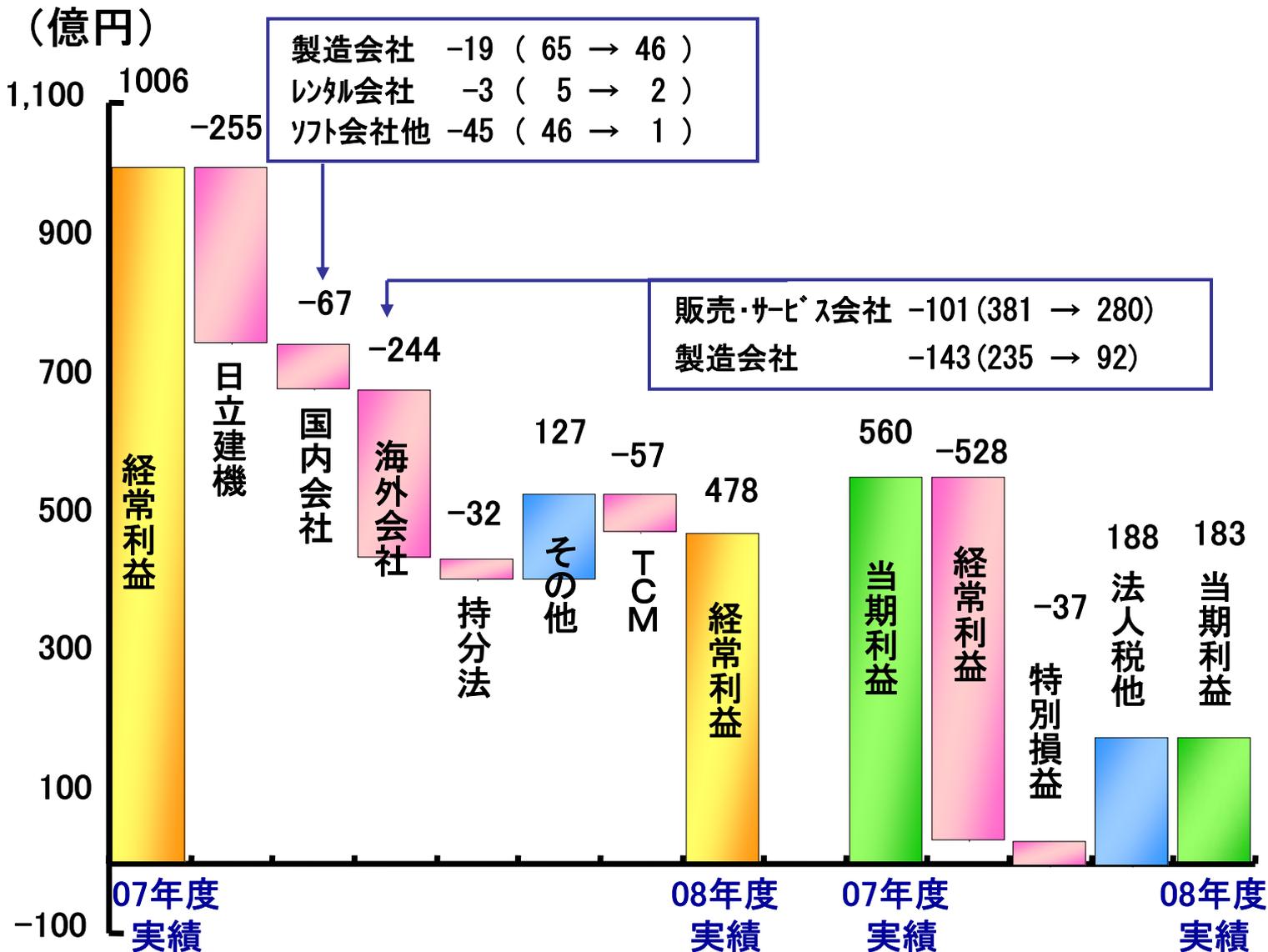
•為替差益 71億
日立建機 81億
→①為替予約の
効果 37億
②期末の評価替
45億

	08年度	07年度	増減
金融収支	$\Delta 30$	3	$\Delta 33$
株式発行費用	0	$\Delta 4$	4
たな卸資産処分損・評価損	$\Delta 11$	$\Delta 45$	34
持分法による投資損益	1	33	$\Delta 32$
為替差損益	23	$\Delta 48$	71
その他	7	$\Delta 18$	25
計	$\Delta 10$	$\Delta 79$	69

連結損益変動要因(実績)

・‘その他’ 127億は主に未実現利益

・日立建機、国内会社、海外会社、持分法、TCMと軒並みマイナスとなった



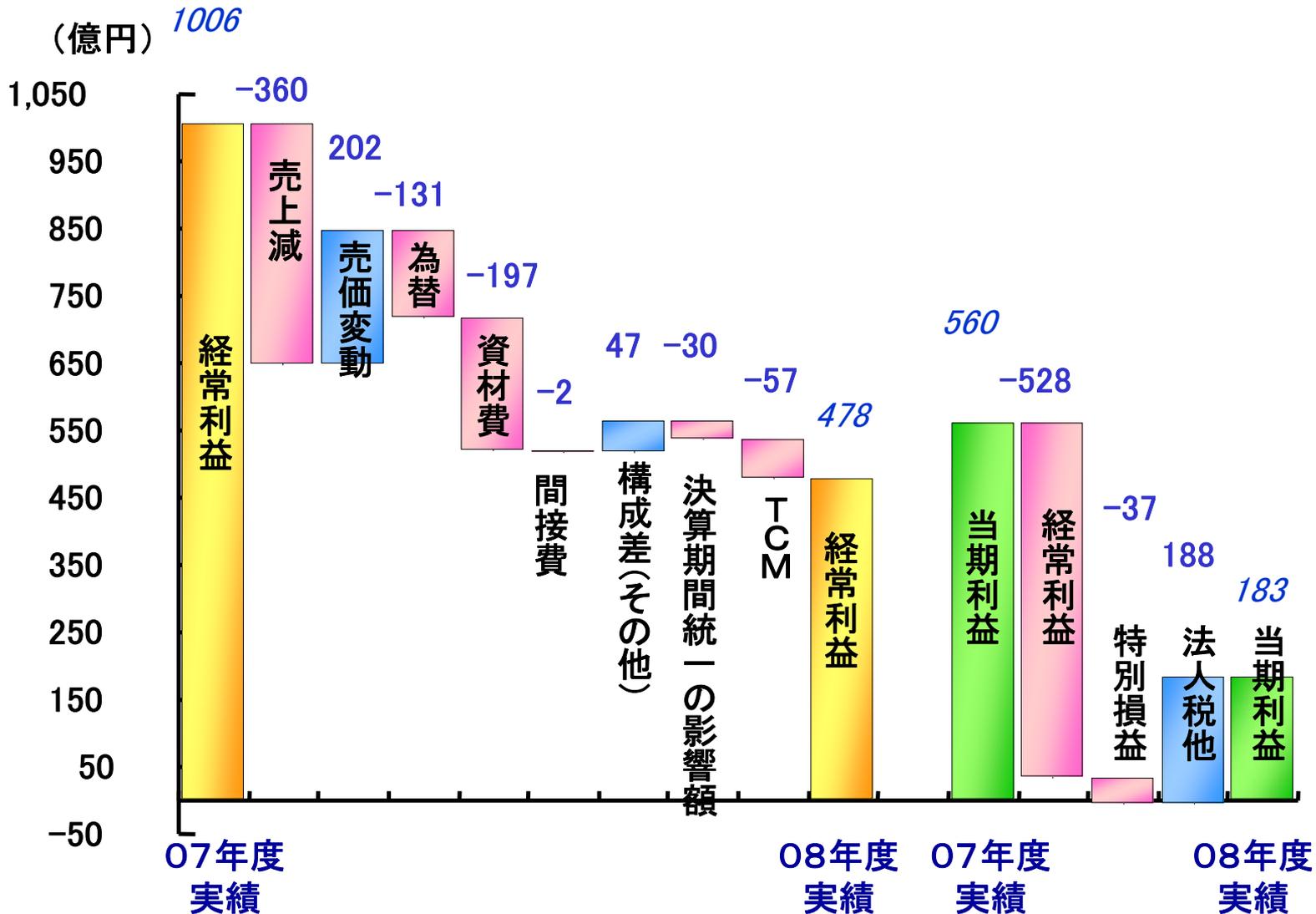
連結損益変動要因(実績)

•資材費197億はマーケットに転嫁できた(売価変動 202億)

•間接費△2億の内訳
△63億(減価償却費、外注経費、機械修繕費)
61億(人件費、広告宣伝・販促費、旅費交通費、賃借料、その他)

→08年3Q時点予想から間接費57億円を追加削減

•需要減による売上減と円高が大きな減益要因



要約連結貸借対照表

(単位:億円)

•売上減に伴い受手・売掛金が630億減少、回収の手持ち日数は改善

•売上減の中、たな卸資産増、手持ち日数悪化

•年度前半までの旺盛な設備投資により固定資産増

•純資産156億減少、主な要因は自己株式の取得△81億、為替換算調整勘定△146億

•有利子負債の増、主な要因は、たな卸資産増、運転資金と設備投資

•たな卸資産の縮減、財務体質の強化が急務

	(A) 08年度	(B) 07年度	(A-B) 増減
現金及び預金	401	533	△132
受手・売掛金	1,759	2,389	△630
たな卸資産	2,683	2,070	613
その他	545	588	△43
流動資産計	5,388	5,580	△192
有形固定資産 (賃貸営業資産)	2,270 注1 (415)	2,046 (359)	224 (56)
無形固定資産	262	193	69
投資その他	494	512	△18
固定資産計	3,026	2,751	275
資産合計	8,414	8,331	83

手持日数(分母は、売上高) (単位:日)

受手・売掛金	86	93	△7
たな卸資産	132	80	52

注1) (賃貸営業資産)は有形固定資産の内数。

注2) (預け金)は現預金等の内数で親会社預け金。

	(C) 08年度	(D) 07年度	(C-D) 増減
支手・買掛金	1,004	1,665	△661
その他	3,140	2,356	784
流動負債計	4,144	4,021	123
固定負債計	960	844	116
負債合計	5,104	4,865	239
少数株主持分	368	368	0
資本金・剰余金	3,224	3,136	88
その他	△282	△38	△244
(自己資本比率)	(34.9%)	(37.1%)	(△2.3%)
純資産合計	3,310	3,466	△156
負債・純資産合計	8,414	8,331	83

	(35.7%)	(22.9%)	(12.8%)
有利子負債計	3,006	1,907	1,099
現金及び預金 (預け金)	401 (0)	687 (155)	△286 (△155)
ネット有利子 負債	(31.0%) 2,605	(14.6%) 1,219	(16.3%) 1,386

ネット D / E レシオ	0.89	0.39	0.50
------------------	------	------	------

注2

連結キャッシュフロー

(単位:億円)

・営業活動

たな卸資産増等により、運転資金が△868億と大きくマイナス

・投資活動

08年後半から新たな投資は止めているが、1年～1年半前に発注したものがあり想定どおり

・たな卸資産の増加はB/Sでは期末レート評価で約600億、CFでは日々のレート評価で869億

・フリーキャッシュフロー△1164億に利息・配当金支払、自社株買いなど合計で1483億の資金不足となるが、増資残り約300億を充て、残り1200億を借入により賄う

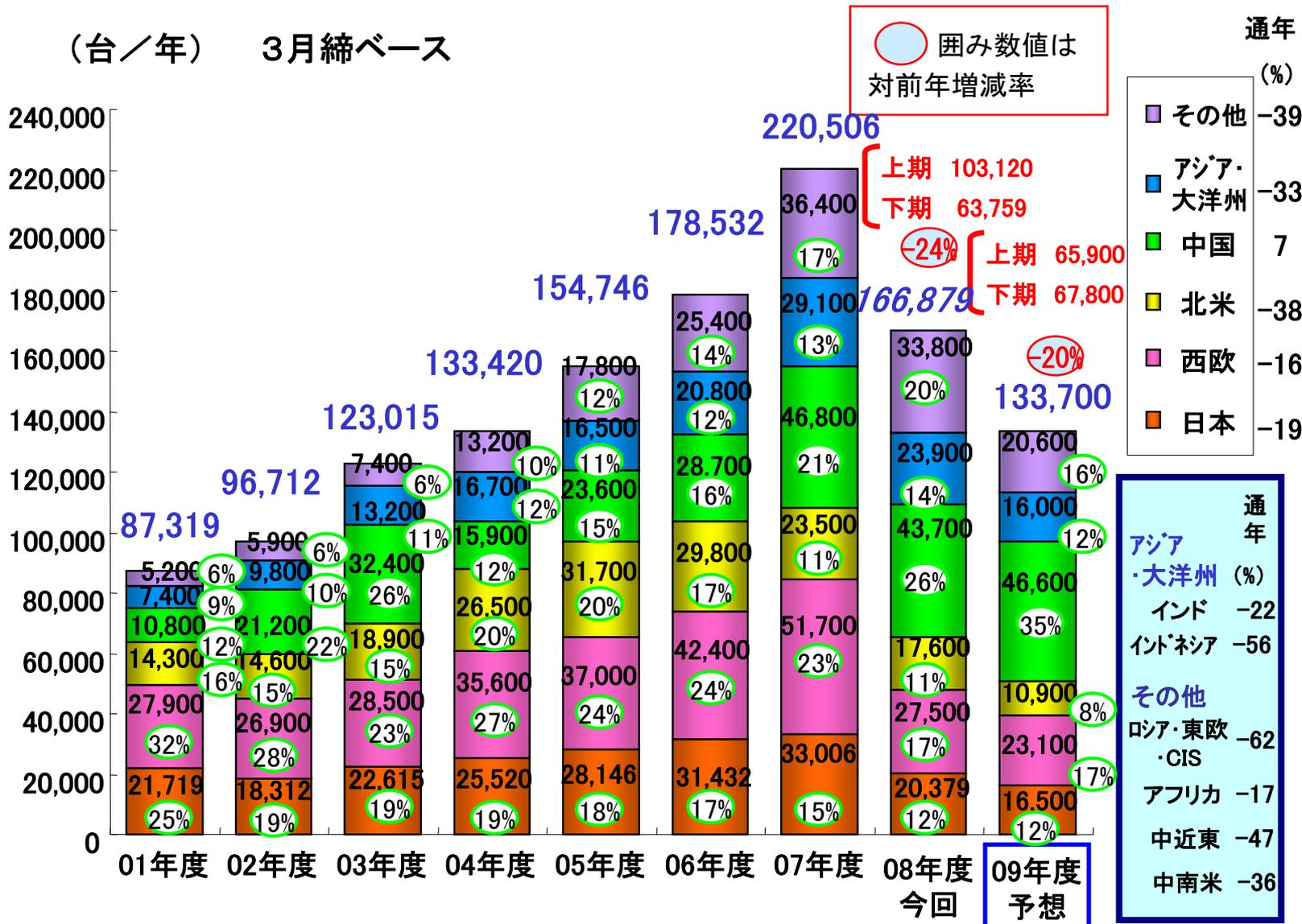
区 分	08年度	07年度	増減
税金等調整前当期純損益	441	1,006	△565
減価償却費	351	302	49
受取手形及び売掛金の増減額	483	△696	1,179
たな卸資産の増減額	△869	△432	△437
支払手形及び買掛金の増減額	△482	245	△727
その他	△472	△521	49
営業活動	△548	△96	△452
有形固定資産の取得による支出	△531	△492	△39
有形固定資産の売却による収入	7	9	△2
投資有価証券の取得による支出	△42	△20	△22
投資有価証券の売却による収入	3	12	△9
その他	△53	△22	△31
投資活動	△616	△513	△103
フリーキャッシュフロー	△1,164	△609	△555
借入金の増減額	1,349	403	946
社債の償還による支出	△130	△106	△24
株式の発行による収入	0	775	△775
利息及び配当金の支払額	△212	△160	△52
自己株式の売却・取得	△82	△9	△73
その他	△25	14	△39
財務活動	900	917	△17
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△32	10
現金及び現金同等物の増減額	△286	276	△562
現金及び現金同等物期首残高	687	411	276
現金及び現金同等物期末残高	401	687	△286

(複写・転用は御遠慮下さい)

油圧シヨベル世界需要推移

・中国を除き全地域で減少

・北米の景気対策の効果は早くも09年度終わり～10年度



Ⅱ. 連結業績予想

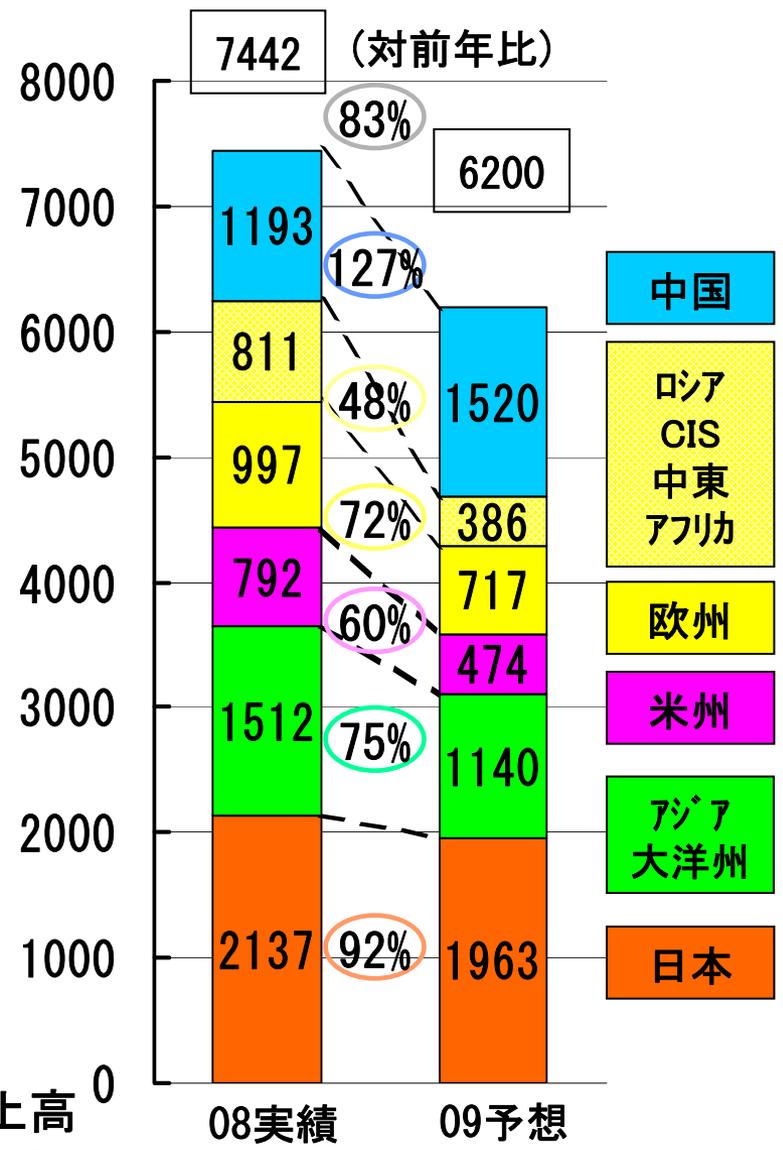
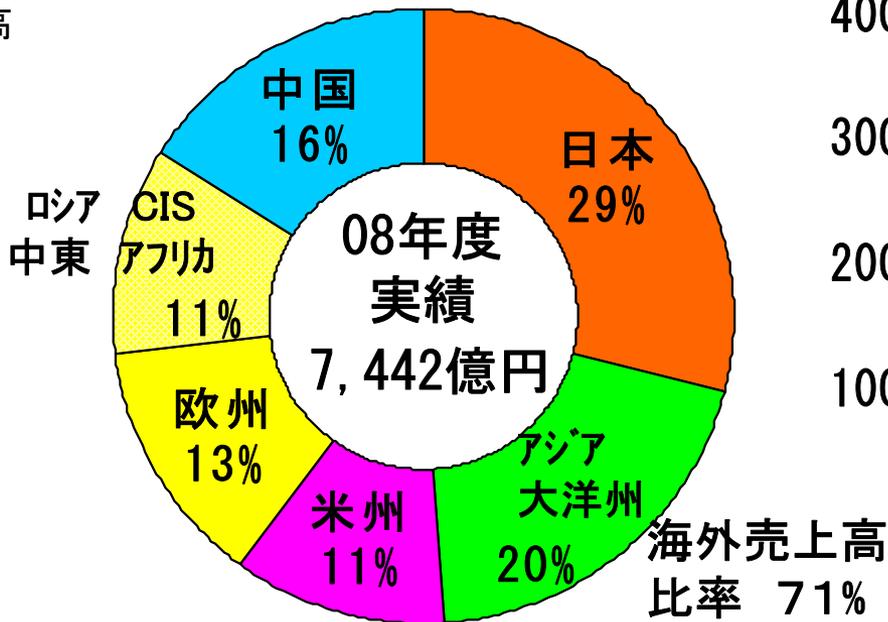
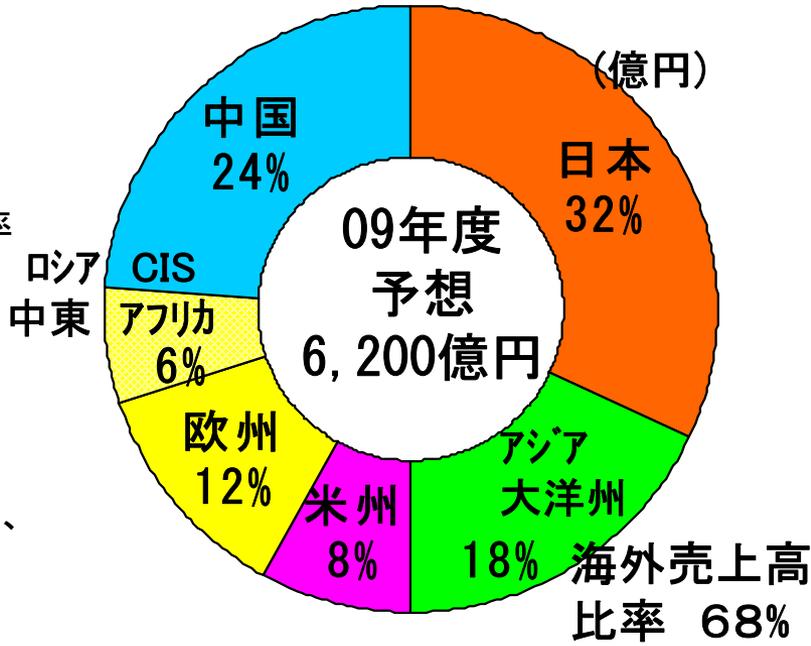
(単位:億円)

•配当性向は、従来の連結税引後利益の15%~20%を30%以上に変更

		09 年度	08 年度	対前年 同期比
売上高		6,200	7,442	83%
営業利益		270	488	55%
経常利益		200	478	42%
当期純利益		70	183	38%
為 替	売上計上レート(円/ドル)	95.00	101.37	/
	予約反映後レート(円/ドル)	95.00	103.05	
	売上計上レート(円/ユーロ)	125.00	155.54	
	予約反映後レート(円/ユーロ)	125.00	159.41	
1株当り配当金		10円	44円	-34円

地域別売上比率・売上高(連結)

- 海外売上高比率が09年度は70%を割込む
- アジア大洋州、特に東南アジアについては動きがみられるので、想定よりも良くなる可能性あり
- 中国の割合が高まる



(注1) % は対前年伸び率

所在地別 売上高・営業損益内訳(予想)

(単位:億円)

•日立建機および
国内・製造
特に年度前半に
生産調整を強め
に行う

•海外・製造
特に日立建機ヨーロッパが悪化

•海外・販売サービス
各社とも黒字は
キープするが、利
益率が低下

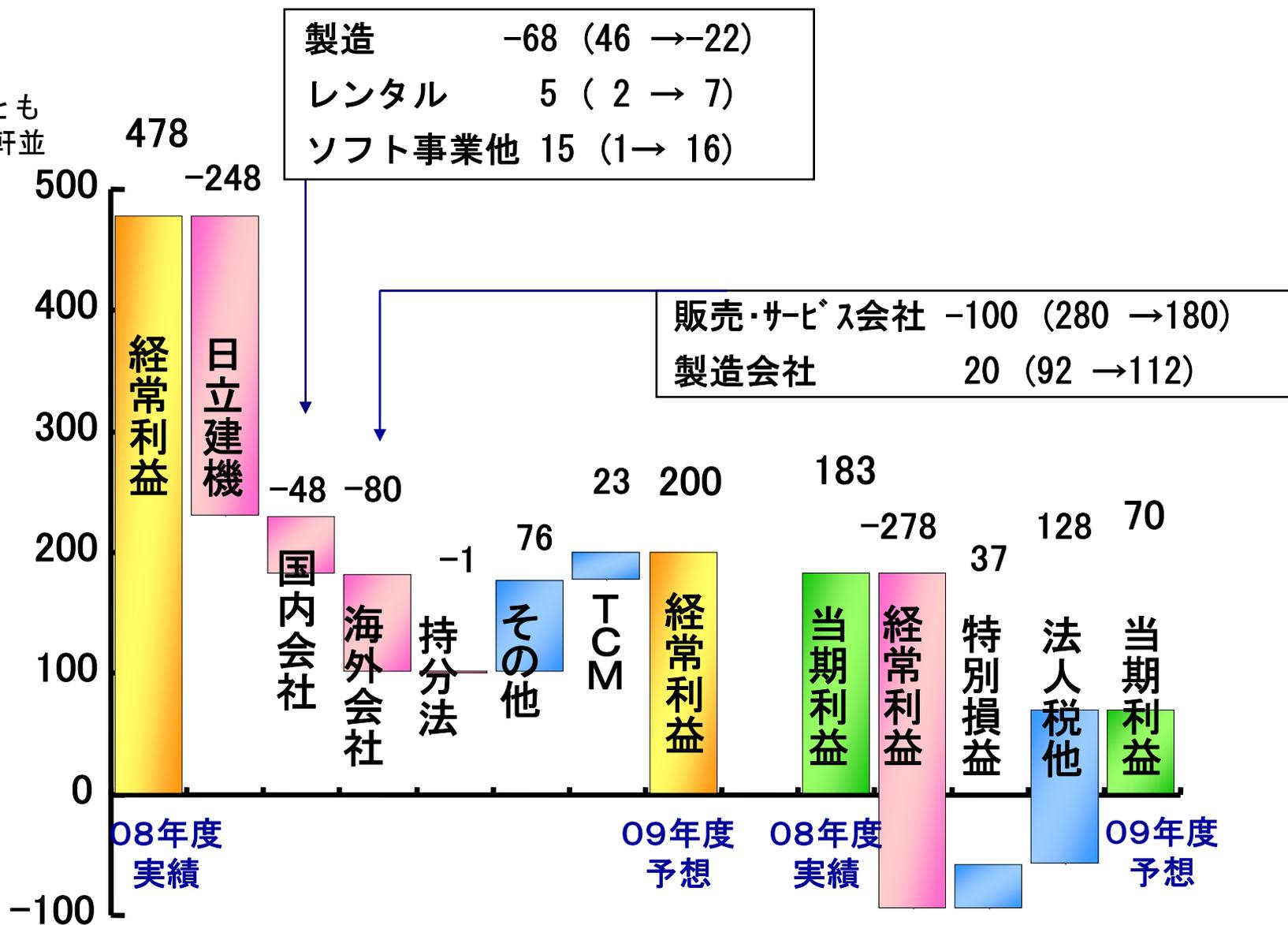
•連結調整
棚卸資産未実現
利益は08年度64
億→09年度47億
で、△17億を見
込む

		売上高			営業損益		
		09年度 予想 (A)	08年度 実績 (B)	増減 (A-B)	09年度 予想 (C)	08年度 実績 (D)	増減 (C-D)
日立建機		3,039	3,982	△943	△125	△20	△105
国内	製造	729	1,150	△421	△20	49	△69
	レンタル	366	371	△5	7	2	5
	ソフト事業他	740	1,157	△417	22	11	11
計		1,835	2,678	△843	9	62	△53
海外	製造	2,326	2,732	△406	145	164	△19
	販売・サービス	2,843	3,129	△286	214	281	△67
	計	5,169	5,861	△692	359	445	△86
TCMグループ 注1		960	1,247	△287	4	△11	15
合計		11,003	13,768	△2,765	247	476	△229
連結調整		△4,803	△6,326	1,523	23	12	11
連結売上高・営業利益		6,200	7,442	△1,242	270	488	△218

注1) TCMグループ連結数値

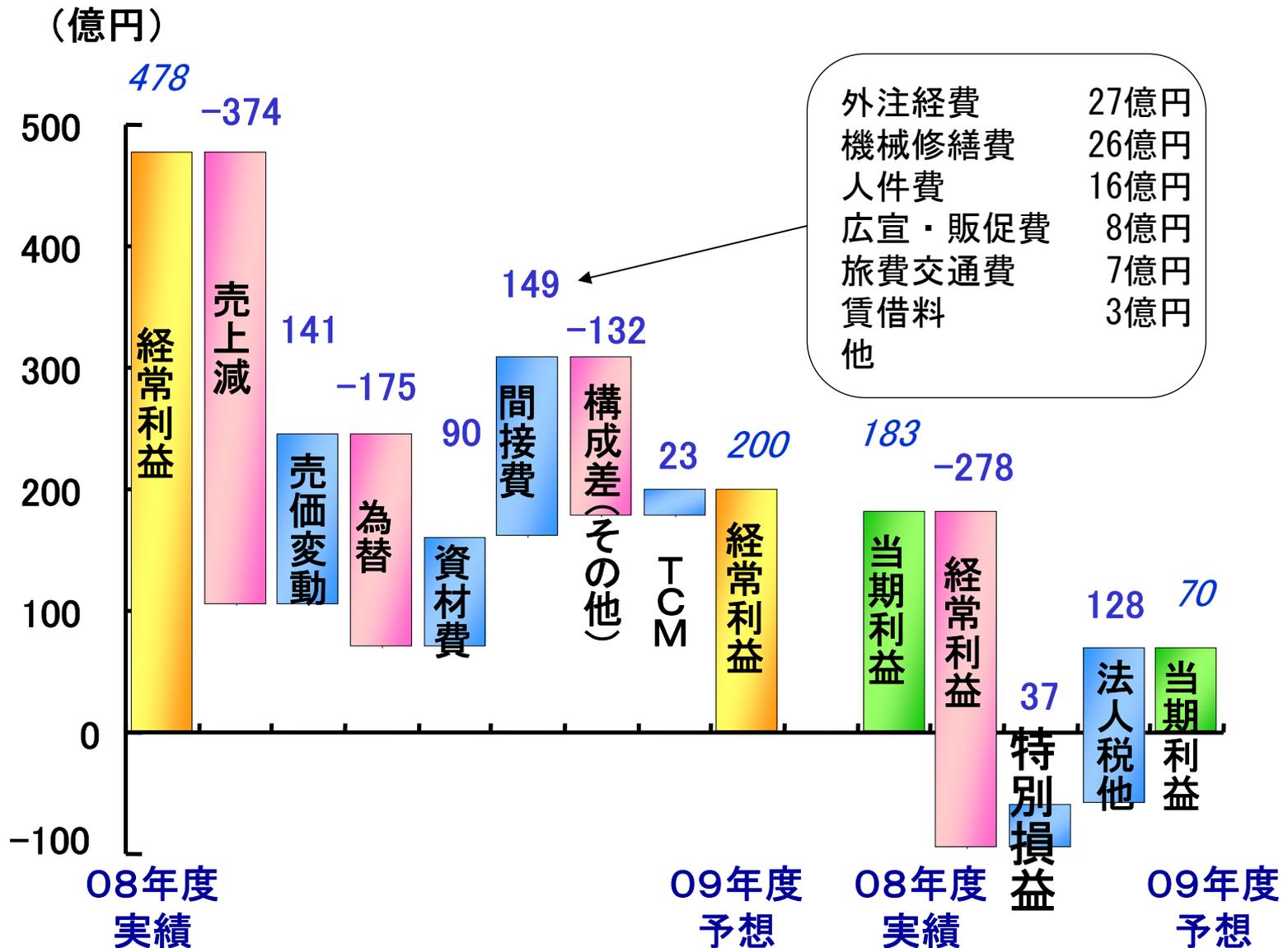
連結損益変動要因(予想)

•各ブロックとも
TCMを除いて軒並
みマイナス



連結損益変動要因(予想)

- 売価変動141億のうち、今年度中の売価アップは40億を計画、101億は実施済
- 間接費149億低減するが、売上減カバーできず
- 資材費は、年間平均で5%低減予定



2009年度施策の要点

•償却費は対前年横這い

•シェアアップによる売上増は、49億円程度の増益効果を計画に織り込む

- 0.在庫縮減 → キャッシュ創出
及びB/Sの改善
- 1.償却費を除く間接費の削減 → 対前年度10%低減
- 2.比例費低減 → 当年度年平均5%低減
- 3.シェアアップによる売上増(1%程度)
→ 約176億円
- 4.当年度中売価アップ → 約40億円

完